



かどや通信

第51号

発行日：令和4年7月吉日

発行：かどや保存会

発行責任者：寺田 直喜／編集：廣野 克子

賑わい復活！
ス々のなかまちマーケット

鳥羽なかまちマーケットが六月十二日に開催され、かどや界隈にも久々に大勢の人たちがやって来た。

今回は、なかまち（鳥羽三丁目〜五丁目）のシンボルである五丁目の赤崎神社（伊勢神宮外宮の末社）のご遷座を祝つのが目的のため、特に「GOSENZAMARKET」と命名した。

伊勢神宮は二十一年に一度、社殿やご装束・ご神宝等を新調する式年遷宮が六九〇年から行われており、第六十二回目は2013年に内宮・外宮で行われた。赤崎神社のご遷座もその一環で、六月一日には神宮から小松大宮司をはじめ二十六人の神職によって厳かな神事が執り行われた。

GOSENZA
マーケットには、



過去最高の二十八の店舗・団体が参加。キッチンカーも大幅に加え、

午前十一時の開始早々、家族連れを中心に大勢の人たちが散策や買い物を楽しんだ。

かどやも久々に昼下がりコンサートを実施したが、密を避けるため会場は中庭の米蔵前で行った。出演は、大正琴、オカリナ、ジャズと、趣の異なる三グループ。まず、津市を中心に活動している「大正琴アンサンブル トレモロファンタジイ」が登場。マイウエイ」など聞きなれたポピュラー音楽を演奏した。同グループは、メン

ループは、メン



バーの一人が鳥羽市在住で、鳥羽にも大正琴の裾野を広げようと三月からかどやで体験教室を開いている。ご縁で演奏が実現した。

オカリナは、かどやオカリナ教室（月二回、木曜日と土曜日に実施）の皆さんが日頃の成果を披露した。



ジャズは、志摩市を中心に活動している「ストリートアヘッド」の皆さんで、かどや初登場。NHKの朝ドラ「カムカムエブリバディ」で評判になった「オンザサーサイド オブ ザ ストリート」など、ジャズのスタンダードナンバーを演奏。ライブを待ち望んでいた人々を楽しませた。



立体感あふれる作品が 見学者を圧倒！

六月の展示は、額の中の3Dアートと呼ばれるシヤドーボックスの作品展だった。

かどやでは2019年五月から志摩市出身の名古屋市在住の丸井靖子さんを講師に迎えてシヤドーボックス教室「みるふい倶楽部」を毎月一回開催している。丸井さんは、名古屋で長年シヤドーボックス教室を主宰しており、2019年一月にかどやで丸井さんと生徒さんの作品展を行ったところ大好評で、かどやでも教室を開講することになった。

今回は、丸井さんと、かどや教室の四名、名古屋教室の十一名の作品合計八十七点が展示された。花や街の風景、果物等をはじめ、ウイリアム・モリス(英・モダンデザイン之父)や伊藤若冲(江戸時代の人気絵師)



の作品を用いたもの等が飾られた。丸井さんが半年がかりで作った超大作もあり、絵画とは



異なる立体感が見学者を魅了した。またまたかどやを見学に来られた観光客も「シヤドーボックスを初めて見ましたが、こういう芸術もあるのかと驚きました」「素敵なお見見ができました」等々、興奮気味に話してくれた。

体験教室が十九日と二十日に行われ、五人が参加した。同じ素材を使っても、作り手の手さばきや感性によって作品は微妙に異なり、シヤドーボックスの奥深さを物語っているようだった。

*シヤドーボックスとは3Dアートとかシヤドーアートとも呼ばれており、数枚の同じプリントをパーツ毎に切り抜き、それらを丸みをつけながらシリコンなどで立体的に重ね合わせるしていくもので、平面的の絵とは一味違った奥行きのある作品になる。発祥は、中世ヨーロッパの貴婦人の間で親しまれていたもので、その後移民と共にアメリカに持ち込まれ、現在のようなシヤドーボックスの手法になったといわれている。

廃材をアートに！ 空き瓶や海洋ゴミが復活!!

七月の展示は「廃材をアートに！再生師の一人展」と題して、海洋プラスチックごみのリサイクル加工会社「リマール」(鳥羽五丁目)と、廃瓶等を再製するガラス工房「やまざき」(多気郡明和町)の作品を紹介した。

《海洋ゴミが室に変身!!》

株式会社「リマール」の理念は、安く軽いプラスチックをアート作品に作り変えることで、環境問題となっている海洋プラスチックごみを新たな資源として日々の生活に活用できる製品に再生することだという。

鳥羽市浦村町に流れ着いたプラスチックごみを回収し、ペレット(粒状)に砕いてから、熱を加え、ランプシエードやテーブル、イヤリング等、様々な生活用品を生み出しており、国内外から注目を浴びている。

また、今年一月に南太平洋のトンガ諸島で発生した大規模な火山噴火の影響による津波で浦村町ではカキの養殖いかだに大きな被害がでたが、同社はいかだを固定するアンカ

漁具転生と書かれたボードも材料は海洋ゴミ



「や養殖用の樹脂製ロープ等も引き取り、アート作品に再生した。」

かどやでは、ランプシエードやテーブル、ピアスに加え、切れたロープ等漁具を再製したオブジェ約二十点が展示されている。ランプシエードを見ていた見学者は「発想の転換で「ゴミもこんなにきれいに変身できるんですね」と感心することしきりだった。

《琉球ガラスに魅せられて》

「ガラス工房やまざき」の山崎さんは、沖縄で琉球ガラスの美しさに魅せられ、現地で修行し、技術を習得した。琉球ガラスは、使い終わった廃瓶を砕き、高温で溶かし、吹き棹で空気を送り込んで成形するもので、肉厚に仕上げるのが特徴だ。

山崎さんは、サイダーやラムネ、日本酒はもちろん、なめたけ等の瓶も利用し、グラスや一輪挿し、おちょこ、ミルクピッチャー、ドレッシング入れ等を出展。肉厚で安定感があるので、アイデア次第で様々な用途に使えると、人気を呼んでいる。

優雅にティータイム 英国づくしのまゆみ塾

六月のまゆみ塾は「優雅にティータイム」をテーマに、バラのアレンジメントと共に、英国ウィクトリア時代の優雅さをテーブルコーディネートで紹介した。

英国は今年、エリザベス女王在位七十年を祝う行事が行われているが、まゆみ塾が今回取り上げたのは大英帝国が最も繁栄していた十九世紀のウィクトリア時代。ウィクトリア女王が結婚式にティアラではなく花冠を付けたことから、テーブルコーディネートには小花柄のティーカップをセッティング。バラのアレンジを済ませた後に



は、日本ではめったに手に入らない紅茶（イギリスの女流作家シエーン・オースティンが暮らしていたバースのシェーンオースティンセンターでの

み販売されており、上質な緑茶と半発酵茶と紅茶をブレンドしたものと、まゆみさんお手製のウィクトリアケーキ（スポンジケーキにジャムやバタークリームをサンドした英国発祥のスイーツ）でティータイムを楽しんだ。英国づくしの優雅なひと時に、参加者たちは大満足の様子だった。

「絵本の時間」が始まるよ！ 読み聞かせにきませんか

かどやでは、感性を豊かにし、想像力を養い、集中力も増すといわれている「絵本の読み聞かせ」を六月から始めた。これまでに3回行ったが、PR不足のためか、各回とも参加したのは親子一組のみだった。しかし、読み手は経験豊富な元保育士と元学校教諭という最強の三人。五月には「絵本会議」と称して、進め方や場所の確認などを綿密に行った。三人は、毎回どんな年齢層の人達にも楽しんでいただけるよう、それぞれ推しの絵本をカバンにいっぱい詰め込んでかどやにやって来るが、その重さは半端ではない。そ

んな絵本と人が大好きな三人に「絵本の時間」にかける心意気を伺った。《楽しさが止まらない》

かどやが贈る「絵本の時間」ではどんなことができるか、担当の三人で読み聞かせをしてみました。まずは中庭にある米蔵の階段で。木陰・木漏れ日・鳥の鳴き声…海風も吹いてきました。時々、電車がガタンゴトンと通り過ぎていきました。縁側では、足をブラン



米蔵前で絵本会議

ランさせながら（お話を）聞きました。屋内でも、上がり框（かまち）・カフエなどを転々としながら読んでみましたが、どこで読んでも（読んでもらっても）楽しさが止まりませんでした。夏休みは、ほぼ月曜毎に開催します。小学生の皆さんもぜひ！ カヨ

《絵本を読むのが大好き！》

かどやの庭でたつぷりの自然を感じながら、またしつとりとした和室で絵本を楽しみませんか。私は、聞き手のじっと見つめる目と笑顔のなかで、絵本を読むのが大好きで

す。絵本の時間を、地域の皆さんと一緒に楽しむことができましたら、とても嬉しいです。ワクワクする絵本、笑い転げる絵本、じっくり読みたい絵本…と一緒にかどやでお待ちしています。 ミツヨ

《絵本にゆったり浸りましょ！》

絵本は幼児だけのものではなく、誰もが楽しめるものです。でも、自分で読むと字を追ってしまい、絵やお話を十分に楽しめません。読み聞かせでは絵本にゆったり浸れます。私自身、聞き手側になると楽しく絵本の世界に入っていきます。「絵本の時間」は、赤ちゃん、幼稚園・保育園児、小学生から大人、ご年配の方までを対象としています。絵本の世界をぜひあなたも体験してみてください。心よりお待ちしております。 ナオミ

いかがですか？チャージングな読み手が誘う絵本の世界！夏休みには、ほぼ毎週実施します。老若男女を問いません。あなたも一度聞きに来ませんか？

八月の予定…一日(月)、六日(土)、八日(月)、二十二日(月)

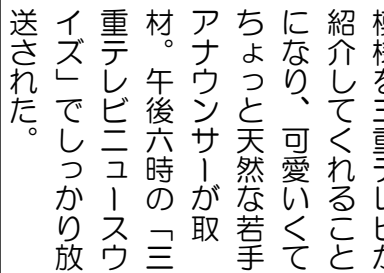
テレビカメラが続々?

七月には、かどやにテレビ局が続々と来ないが、なんと三回もやってきて、収録が行われた。

《三重テレビがライブを紹介》

「第百回かどや屋下がりコンサート」が七月三日に行われ、宮崎義明ジャズトリオがクールな音色を披露してくれた。コロナ前はこの時期、東京新宿を中心に活動しているプロのミュージシャンによる「新宿トラッドジャズフェスティバル イン鳥羽」が開催され、本番前にはかどやでも演奏してくれた。三年ぶりに鳥羽で演奏することになったが、移動時間の都合でかどやでの演奏はなし。そこで、同演奏会を盛り上げるため、かどや常連の宮崎さんのグループに演奏を依頼した。すると、その模様を三重テレビが紹介してくれることになり、可愛いくてちょっと天然な若手アナウンサーが取材。午後六時の「三重テレビニュースウィズ」でしっかり放送された。

取材を受ける宮崎ジャズトリオの皆さん



《恋する鳥羽》をかどやで収録》

ZTVとYouTubeで放映されるドラマ「恋する鳥羽」の撮影が七月二日にかどやで行われた。「恋する鳥羽」は、鳥羽市観光協会がドラマ仕立てで鳥羽を紹介する番組で、2017年十一月に始まり、シーズン2は2021年十月、今回はシーズン3になる。

かどやでの収録は、座敷、庭、仏間を使って行われた。出演者はエキストラも含めオーディションで選ばれた人たちだが、地元色をより強く出すために、かどやスタッフにも当日急遽出演依頼があった。慌ててふためいたが、ジャンケンで負けたスタッフが何とか役目を果たした。

《石田靖がやって来た》

ローカルテレビZTVの人気番組「石田靖とびらりて笑(シヨウ)」が鳥羽で撮影されることになり、七月五日にかどやでも収録が行われた。同番組はお笑い芸人の石田靖さんが、地元住民とのトークを繰り広げながら、観光スポットや街の魅力、特産、歴史などを紹介するもので、中世古館長がかどやを案内した。

放送予定…八月十六日～三十日。

午後一時～一時半と午後八時半～九時。

◆◆貸部屋のご案内◆◆

かどやを有効に活用していただくため、一部の部屋を貸部屋として貸し出しています。茶話会や勉強会、展示会などにご活用ください。

詳細は、かどやへ。

電話〇五九九二五八六八六

時間区分 部屋	午前	午後	全日	冷暖房設備 利用料
	10時～12時	13時～16時	10時～16時	
座敷南(10畳)	500円	600円	1,100円	500円
座敷北(8畳)	400円	500円	900円	—
仏間(6畳)	300円	400円	700円	—

- ・営利目的の場合は、料金表の10割増しとなります。
- ・鳥羽市民または市内勤務者以外の利用は、料金表の5割増しとなります。
- ・許可された利用時間を超過する場合は、割増料金が発生します。
- ・冷暖房費は、全日使用の場合は2倍になります。

かどや保存会 令和4年度会員募集中!

かどや保存会は、歴史的文化財である「鳥羽大庄屋かどや」の保存ならびに効果的な活用・運営をめざして活動を続けており、当会を支援して下さる会員を募集しています。

ピーク時の平成30年度は会員数が351名でしたが、残念ながら以後毎年減少しています。しかし、コロナ禍にも関わらず、令和4年度は7月15日現在で234名の方から新規や継続のお申込みをいただきました。皆様からのご支援を心より感謝いたします。コロナの収束にはまだ時間がかかるものと思われそうですが、感染防止対策を強化しつつ、皆様の憩いの場所となるよう、これからも日々努力を重ねてまいります。手続きがまだの方も引き続きご支援いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の年会費(1口2,000円)は、継続・新規を問わず、以下の方法で納入してください。

(1)手渡し：かどやにお越しいただき、直接事務局にお支払いいただく。

(2)銀行振込：郵便局 当座 かどや保存会 00850-4-151751